

普通科

学力向上フロンティア校
「みらいハトライ! 福高スクラム」

学力向上フロンティア校に3年連続で指定
普通科の新しい取組に御注目ください!

1年学習合宿 ～進路を切り拓く「実力」と勉強する「癖」をつけよう～

夏休みの初日7月21日(水)から23日(金)にかけて、学習合宿が行われました。1年生普通科202名中160名もの参加希望があり、1年生の学習に対する意識の高さがうかがわれました。朝から夕方まで英数国の3教科について、担当の先生方による講習を受け、さらに夕食後は全員が自習を行いました。実施前にはそんなことが自分にできるのか、と不安だった生徒も、実際に3日間を終え



て、「自分もやろうと思えばこれだけ勉強できるんだということがわかった。」「勉強する習慣が少し身についたので、続けていこうと思う。」といった自信や前向きな気持ちが表れました。また、寝食を共にすることや役割分担を互いに行うことで、連帯感や団結力を培い、仲間とのつながりを深める機会にもなりました。

本校を昨年度卒業した神戸大学1回生の久代君(六人部中学校出身)が、高校生活に関するアドバイスや、大学生活について話してくれる機会もあり、生徒は熱心に聞き入っていました。

今回の学習合宿を糧に「毎日学習をする癖」をつけ、3年間を通して大きく成長してほしいと願っています。

1年宿泊研修 ～「本物」を体感する喜びを通して、具体的な進路目標を!～

7月23日(金)宿泊研修後から24日(土)にかけて、普通科1年生の希望者を対象に宿泊研修を実施しました。3つの大学見学を通して自らの進路を考えること、京都地方検察庁や京都大学総合博物館の見学を通して理系・文系それぞれの知見を広げることが目的としました。特に本年度は神戸大学や京都大学にも卒業生が多く在籍し、先輩の話も大きな財産となりました。今後も卒業生とのつながりを大切に、大きな目標や具体的な目的をもって学習に取り組める環境を作っていきたいと考えています。生徒は短い1泊2日の研修ではありましたが、日常生活や普段の学習では味わうことのできない貴重



時計台とクスノキをバックに記念撮影(京都大学)

な体験をし、仲間とのつながりを深め、大きく成長することができました。

以下に、宿泊研修の行程と、研修の様子についてお知らせします。

7月23日（金）

11:30 学習合宿の宿舎を出発
13:00 **神戸大学**
神戸大学について
本校卒業生（現神戸
大学生）との交流
16:00～ **同志社大学**
同志社大学について
施設見学
17:30 宿舎到着
18:00 入浴
19:00 夕食
21:00 ミーティング
22:30 就寝

7月24日（土）

6:30 起床
7:00 朝食
8:00 宿舎出発
9:00 **京都地方検察庁**
施設見学・講話
11:00 **京都大学**
本校卒業生（現京都大
学生）による施設見学
昼食
本校卒業生との交流会
13:00 **京都大学総合博物館**見学
14:10 出発
16:00 福知山高校帰着

<神戸大学>

昨年度本校からは9名の生徒が神戸大学に合格し、その中から中井君（普通科Ⅱ類・成和中学校出身）、安岡君（普通科Ⅱ類・成和中学校出身）、高橋君（文理科学科・日新中学校出身）の3名が神戸大学での様子や高校生活のアドバイスについて語ってくれました。

特に、彼らの多くは部活動を引退まで熱心に頑張り続けた生徒です。「文武両道はとても大変なことです。部活動をやらないからその分勉強に頑張れる、というわけでもない。部活動を通して達成感を味わってほしい。完全燃焼できる力は、切り替えて集中的に勉強に頑張れる力になります。」また、互いを大切にするアットホームな学年でもありました。「部活動や福高祭が終わった後、学習への切り替えも大切です。互いに勉強を競い合い、分からないことを相談し合える温かいクラスをつくってください。」と締めくくってくれました。



神戸大学にて 先輩より高校生活のアドバイス



同志社大学での施設見学

<同志社大学（田辺キャンパス）>

バスで移動しなければならないほどの広大な敷地に、新しくきれいなキャンパス、充実した設備を目にし、生徒はため息の連続でした。特に男子生徒は、たくさんの部活動があることに興味津々でした。

同志社大学についてのビデオ視聴や説明を受けた後、同志社大学の学生さんに説明を受けながら、キャンパス内を見学しました。

見学の途中にも、学生さんが手を振ってくれた

り、「ぜひ入学しておいでね。」と声をかけてくれたりして、雰囲気の良い感じました。

<京都地方検察庁>

SMAPの木村拓哉が主役を務めた人気ドラマ「HERO」は、検察官という職業を世間一般に広める大きな役割を果たしました。その検察官が働いておられる京都地方検察庁では、毎日のように検察官が被疑者に対して事実を確認・捜査し、起訴することが妥当か、求刑はどの程度なのかを審議し、適正な裁判が行われるよう努めておられます。

生徒はまず取調室を見学し、その後検察官から仕事の内容についてお話をうかがいました。万引きや自転車の窃盗なども犯罪であり、懲役や罰金などの刑がつきます。決して軽い気持ちで行ってはいけない行為だ

ということを再認識しました。「なぜ検察官になろうと思ったのか。」、「六法全書はすべて暗記しているのか。」など、生徒の質問にも丁寧に答えてくださり、検察官の仕事についてより深く理解することができました。機会があれば、将来裁判員制度に参加するかもしれない1人として、裁判所の傍聴にも立ち会ってほしい、とおっしゃっていました。



京都地方検察庁にて

<京都大学>

昨年度本校からは3名の生徒が京都大学に合格し、その中から坂口君（文理科学科・六人部中学校出身）、直田君（文理科学科・六人部中学校出身）の2名が京都大学内を案内してくれました。そして、高校時代の学習の仕方や、受験勉強への取り組みかたについて、自らの経験をもとにアドバイスしてくれました。受験勉強といっても基本は各教科の学習なので、日々の授業をしっかりと受け、その日のことをその日のうちに理解すること、提出物や課題は確実にやりきって期限内に提出することなどの地道な努力が大切だ、ということ語ってくれました。難関大を突破した先輩を、1年生も尊敬のまなざしで見つめ、高校での学習や京都大学での生活について熱心に質問し、有意義な時間を過ごすことができました。



京都大学で学ぶ先輩を囲んで高校時代の話を行いました。

学内食堂で昼食をとり、午後は京都大学総合博物館を見学しました。大野照文館長が、直々に案内をしてくださりました。古代の棺桶を題材に「その形や模様の移り変わりを通して、より使いやすくするための工夫や当時の流行などが垣間見える。客観的な事実から想像力を働かせ、じっくりと当時のことを考えて史料を見るといい。」というアドバイスを受け、特別展「科学技術 X の謎」について展示を見学しました。X線とは何か、どのような分野で使われているのかなどを知り、その不思議さ、美しさなどに触れ、新しい発見をたくさん持ち帰りました。



京都大学総合博物館 入口にて

取組紹介～「みらい」の窓～ 宿泊研修 感想文

1年1組 西田 涼 日新中学校出身

2日間で神戸大学、同志社大学、京都地方検察所、京都大学へ行き、たくさんのことを学び、体験することができました。

神戸大学では知っている先輩もいて、いろいろ個人的に話も聞けました。どこの大学も面積がとても広く、全て見学できなかったのがとても残念です。でも、スクリーンを使って、大学とはどういうところか、どんなことを学ぶのかなど、様々なことを教えていただきました。

同志社大学では、同志社大学で作られた映画を見せていただきました。一番驚いたのは、映画館のような所があり、そこで英語を勉強するということです。あんな大きなスクリーンを使って勉強できるんだと思い、とても楽しそうだと感じました。

京都地方検察所では取調室に連れて行っていただきました。事情聴取を本当に行っているところに行くことができ感動しました。

京都大学では先輩たちに大学を案内していただきました。ずっと歩いてとても疲れたけど、京都大学の学食で食事ができてとても嬉しかったです。

2日間という短い間だったし、学習合宿の後でとても疲れていたけど、大学という場所の雰囲気を感じたり、取調室という滅多に行くことのできない所を見学できたりととても内容の濃い2日間でした。



1年5組 梅垣 智理 六人部中学校出身

今回の宿泊研修を通して得たものは多かったです。一番大きかったのは「大学に興味を持てた。」ということです。もともと進学したいと考えていましたが、神大、同志社、京大と見学していくうちに、「絶対大学に行きたい!」と思うようになりました。

まだその大学の特徴や学科について詳しくは分かりませんが、今後勉強していく上でよい目標ができたと思います。また卒業生のお話を聞くことができたのはとてもよかったと思います。卒業生のお話の中で大切だと思ったのは次の2つです。

- ・授業を大切にす
- ・定期テストで確実に点を取る

このお話を聞いて、今まで分かっていたようで実はそこまでしっかりと分かっていなかったのだとも思いました。今後の学校生活ではOBの方たちに教えてもらったことを生かし、今回の懇談を無駄にしないようにしていきたいと思いました。今回の宿泊研修は進学についてしっかり考えるようになるきっかけであり、これからの学習をよりよくしていこうとするきっかけともなりました。

22名の仲間と2人の先生とともにこのような経験ができたのは本当によかったです。